

心の中を流れる詞とメロデー

和だよしはる
和田芳治さん（広島県庄原市総領町）

平成23年度人権啓発講演会の講師などで、
何度か日野町を訪れたことのある和田芳治さん。

根雨から遠く見える大山に、『ふるさと』に帰った気持ちになれると、
『遠くに大山』という詞を書かれました。

ふるさとへの思い、子どもたちへの思いなどを聞きました。

すごい、こりゃええ。最高の歌
ができましたね。心地よいメロ
デーと抜群の歌唱力に一回聞い
ただけで耳に残ります。心に響き、
聞いた人は根雨の風景が思い浮か
ぶ歌だと思います。

りませんか。大人から子どもまで、
幅広い世代に向けたメッセー
ジです。
この詞には、地元の人に曲をつ
けてほしいという気持ちがあり、
日野町の教育委員会にお願いして
いました。ふるさとの曲を、都会
の人が作るのはどうでしょうか。
私は、良いものは作れないと思
います。この度、聞かせてもらって
感動しました。聞けばふと風景が
見える歌になるのは、地元の人が
曲をつけたからだと思います。

させたいという努力をさせて、ふ
るさとを捨てさせる教育をしてき
たのです。今、考え直す時期にき
ています。ふるさとに誇りを持っ
ている親であれば、子どもはふる
さとに帰ってきます。
そして、この歌を中学校で合唱
に使ってもらいたいですね。ふる
さとを離れても、日野町のことを
考えるときに歌ってくれると思
います。歌は、理屈ではなく感性に
響きます。今の都会志向の考えを
変えることができると思っています。
私は、曲をつけてくれた二人に

新・ふるさと日野町の歌
『遠くに大山』



会ったことはありませんが、二人
には色々な場所で大くさん歌って
ほしいと思います。作っただけ
は広がるものではありません。な
かでも小・中学校で子どもたちに
歌ってもらえるように、二人はも
ちろんのこと、周りの皆さんも活
動してください。子どもたちが歌
うことで心に残り、より歌が良い
ものになると思います。
ふるさと日野町の「元気のもと」
として、この歌が町内に広がって
いくことを願っています。

恋の歌はいくらでももある。
『ふるさと』の歌を歌うから
価値がある。
心の歌として、
子どもたちに歌ってほしい。
『遠くに大山』が見える町、
輝け！日野町



和田さん(右)の笑顔は、周りの人を元気にする(自宅前で妻・和子さんと)